

指導医					
臨床能力	極めて優れている	標準以上	標準	やや劣る	劣る
1 医科学・医療の知識	13	62	72	2	
2 身体診察・面接能力	12	62	73		
3 患者や家族とのコミュニケーション	21	64	59	2	
4 診療録記載	16	69	57	5	
5 問題解決能力	12	61	70	3	
6 プレゼンテーション能力	16	64	60	7	
7 上級医との意思疎通・コミュニケーション	33	78	32	5	
8 医療スタッフとの関係・コミュニケーション	31	70	42	4	1
9 自己研修への意欲	37	59	47	5	1
# 総合的臨床能力	21	69	57	1	

※卒業生1名については指導医5人よりそれぞれ評価いただいております

コメント

- ・社会性に問題がありました
- ・積極的に協調性がある
- ・症例のプレゼンテーション・コメディカルとのコミュニケーション能力に長けています
- ・何事にも積極的に取り組んでいます
- ・自己研修への意欲・リサーチマインドは高く、将来希望科以外の専門科領域の症例に対して、院外検討症例検討会及び学会での発表を行った
- ・おとなしい面もありますが、真摯に患者さんに向き合う姿勢は印象的でした。今後は積極性が出てくるといいと思います。優しい良い医師です
- ・皆さん優秀な良い方々だと思います
- ・素直ですが、ややおとなしすぎる印象があります
- ・いつも笑顔で楽しそうに研修しています
- ・しっかりしている
- ・とても生真面目で、向上心が強いと思います。手技はしっかりと身に付けており、後輩への指導も自発的にしてくれております。良い意味の要領の良さがやや不足しているのでしょうか
- ・真面目に研修しており、患者・医師とのコミュニケーションを積極的に行っている。研修医リーダーとしてまとめ役にもなっている
- ・ご家族を含めた小児患者に積極的に対応されていました
- ・申し分ありません。優秀かつ熱心な研修医です
- ・研修に対してとても意欲的で、自分から積極的に行動される姿勢は素晴らしいと思います。まだ1年目ということで粗削りな部分はありますが、経験がカバーしてくれると思います
- ・特に劣る面はなく、標準的な能力は有していると考えられます
- ・礼儀正しく、きちんと仕事をこなす。将来有望な若手医師です。たまに遅刻することもあるようですが先輩医師からも大変かわいがられています
- ・非常に優秀な研修医でした
- ・外科研修中の身体的・精神的負荷が大きく、メンタルサポートの必要な状態となり、現在残業無し土日勤務無しの条件で研修中である。コミュニケーション能力に問題はなくコメディカルからの信頼も十分得ているため少しもったいない。基本的には優秀な研修医である
- ・ややおとなしく控えめな印象ですが、こつこつと真面目に研修しています。外来研修で多く関わりましたが、穏やかに多くの患者さんに対応できていました
- ・正直で好感の持てる研修医です
- ・知識はあるがコミュニケーション能力が低い
- ・快活で知識も豊富です。要求したスピードで十分な質の仕事をこなすことができます
- ・明るく、コミュニケーション能力に富み、チーム医療の中核となりうる優れた研修医である

- ・勤務・研修に対する基本的な心構え、態度は問題ありません
- ・基本的な知識・技術については十分と思います。今後のさらなる成長を期待しています
- ・優れた臨床医になると思います。将来が楽しみな逸材です
- ・コミュニケーション能力に優れていると思います。まじめな実習、研修態度です。手技を器用にこなしています
- ・真面目な研修態度です。もう少し問題解決能力というか積極性があればいいと思います
- ・人間性にも優れており、研修に積極的に取り組んでいた
- ・臨床能力に関してはまだまだこれから伸びてゆくものと考えております。臨床的な知識を吸収しようとする意欲はあり、今後を期待しています
- ・個人としての知識量や勉強意欲は素晴らしいものがある。しかしコミュニケーションが取れず独断で行動していた点が欠点である
- ・自身の希望・期待通りでないことがあっても投げやりにならずに前向きになるとよい
- ・意欲的に診療してくれています。いい救急医になると信じています。
- ・熱心に研修に取り組んでいます。スタッフとのコミュニケーションもしっかり取れており、現在の調子で研修をすすめてほしいと思っております。
- ・熱心に研究に向き合っている姿勢が印象的です。2019/9/14第653回日本内科学会関東地方会で奨励賞を受賞されました。
- ・とても優秀で、研修医のリーダー的役割を果たしてくれました。
- ・研修医のレベルとしては標準的と考えます。プレゼンテーション、医学的判断などにいついてはもうひとつですが、意欲はありますので、今後を期待しています。
- ・残念ながらやる気があるという研修態度ではありませんでした。（今回乳腺化課にまわるのは3か月目3回目なのですが）毎週金曜日を夏休みとして取得し、金・土・日・月（祝）を毎週休んでおり、それ以外の日も飲み会の翌日なのか休んだり遅刻したり（ほぼ連絡なし）いるのかいないのかよく分からない事が多々ありました。最後の方で厳しく注意をして本人も反省したようで「自分の研修態度をあらためるので、見てほしい」との事でしたので、9/30まで態度を見てからと思い、提出が遅くなりました。カルテの記載を毎日するようと言いましたがほぼ書くことはありませんでした。医療技術（患者さんとのコミュニケーション実技）は悪くないと思いますが自分の能力を過信するところ、医療に対する認識の甘さには今後不安を感じます。きちんとした（時に厳しい）教育が必要です。
- ・研修に対しても熱心に取り組んでいた。日常業務でも上級医とのコミュニケーションを密にし、ミスなどが少ない印象。
- ・泌尿器科は今のところ2か月しかローテーションしていないため、まだ十分に把握できていません。
- ・常に前向きで明るく好感が持てます。 ・能力・意欲ともに良好です。 ・人柄も良く、真面目な研修医です。
- ・知識については日頃より自己研鑽に努めているが、コミュニケーション能力が低く残念である。コミュニケーション能力を獲得できるよう指導していきたいと考える。
- ・まじめな研修医です。 ・将来が楽しみです。
- ・自ら言われてやるだけでなく勉強すれば伸びると思います。 ・自己学習の方法を学んでいなかったようです。
- ・やる気がある研修医と考えます。 ・もう少し意欲があれば伸びてくると思います。
- ・知識が少ないところを笑ってごまかしているような印象がありますが、本質的には真面目に研修を続けています。
- ・大変真面目に研修を行っています。素直な性格でコミュニケーション能力も問題ありませんので、もう少し自己主張を強くしても良いかもしれません。
- ・大学時代の優秀な成績を裏打ちするような高い知識を持っています。しかしそれ以上に真摯に患者や家族に接している姿勢は臨床家としても優れた素質を感じます。
- ・素直で明るく振舞いながら、確実に研修を重ねている印象があります。
- ・自己のペースでしっかり診療する態度に好感が持てます。
- ・知識・能力が豊富で自己を高めようという意気が感じられます。
- ・対人関係が良好で、医療人としてしっかりと歩んで行ってくれると思われれます。
- ・能力が高く、社会的で将来を嘱望される人材と思われれます。
- ・地道に知識・技術を重ねていこうとする態度が見受けられます。
- ・疑問を放置せず真剣に医療を行おうとしている意識が感じられます。
- ・他者への思いやりがあり、チーム医療を実践できる人材と思います。
- ・女性的な弱みを見せずにしっかりと研修に直面している態度を感じます。
- ・知識的には不安を感じますが、人格的には問題なく医療者として優れた素質を感じます。
- ・優秀で自己を高めようという意欲が感じられます。自己の評価が高く、負けず嫌いな性格からも臨床の場で暴走する傾向があり、注意を要します。
- ・要領が良い、悪く言えば少しずるい所が見えますが、そういう点が見えるということは要領が悪いのかもしれませんが。診療行為自体は地道に真剣に取り組んでいます。
- ・真面目に取り組んでおり、好感が持てます。 ・よくがんばっています。

- ・特に際立っていたのは、患者・医療スタッフへの気遣い、コミュニケーション能力であり、今後益々の活躍が期待されます。
- ・平均以上の能力を持っているが、もう少し向上心があると伸びると思います。
- ・真面目に研修され、評価も良いです。
- ・手術に際しての器用さや、外科的センスが備わっている。努力次第で優れた外科医になり得る素質があると判断する。
- ・現時点である程度の知識を有しており向上心もあるので、このまま研修をしっかり続けていけば問題は特にはないと思います。
- ・しっかり真面目に仕事にあたっています。十分に標準以上と考えられます。
- ・大変優秀だと思います。将来も本学で活躍することを期待します。
- ・カルテ記載、面談、内診能力に優れており、向上心もある。検査への参加意欲はやや乏しい。

学生教育に関して

- ・温厚篤実な医師が多い印象です
- ・意欲やリサーチマインドが高いことは参加型学習、臨床クラークシップの充実によるところが大きいと思われ、さらなる発展を期待します
- ・とても優秀です。もっといろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。自分を過少評価しているように感じます
- ・対人関係をきちんと築ける学生さんが多い印象です。学問的な能力・知識・理解力といった部分は平均的でしょうか
- ・カンファレンスでの発言にも積極性が欲しい
- ・このようなフィードバックは良いと思います
- ・知識は豊富であるが、上級医・患者様とのコミュニケーション能力に欠ける方が多い
- ・本学の学生と比較すると知識が不足している面がある
- ・臨床推論は苦手な印象です
- ・薬剤の知識や文献的考察をさらに一步推し進めてゆくといいと思います
- ・国試浪人の方が多いように感じます。症例定時の経験が少ないのでしょうか
- ・教育体制が医局によってばらつきが多く、時間が取れていない
- ・研修医同士の競争意欲が低い
- ・SGLの参加態度が悪い
- ・責任をもって患者さんを診るという態度に欠けます
- ・専門的なところを勉強しているが医師として必要な共通スキルに欠けている
- ・手技・診察能力が劣っている
- ・臨床研修が地域医療を担う関連病院とどのようなかかわりを持つことになるのか認識を共有する機会があるとよい
- ・当院にて研修して下さった初期研修医の先生方は皆さん熱心で性格も良く、着実に研修をこなして下さっています
- ・これまで当院で研修して下さった先生方は患者さんに真直向き合って下さっていた姿が印象的でした。
- ・臨床家として研修では身につけることが難しい部分（態度？）が身につけている方が多いようです
- ・日本医大の卒業生がということではありませんが、研修医全体として物事に対する貪欲さがなくなってきているように感じます。
- ・スマートではありますが
- ・卒前教育が国家試験合格がメインとなっており、大学として情けないと思う。
- ・国試対策が最優先となっており、まるで専門学校の様である。大学として情けないと思うべきだ。
- ・研修医として働く時の心得、人の命を預かるという重大さ、医師としての未来像（どのような医師になりたいのか）をもう少し考えさせる教育が必要かと思います。自分のQOLも大切ですが、やはり医師としての責任感が欠落した研修医が多いです。
- ・学生教育はほぼ指導医に一任せれており、病院としての教育プログラムが充実しているとはいいがたい。
- ・良家の子女が多い印象です。以前研修していた方も朗らかで前向きな方でした。
- ・実習が見学で終わってしまう科がまだ複数あり、また学生も実習に熱心でない学生が目立つ。
- ・平均以上の能力を持つ研修医が多いと思います。
- ・周囲と調和をとりつつ、当院の提示する研修内容について順調に進んでいる。
- ・臨床で回ってくる学生は（熱心な）良いグループと（やる気のない）悪いグループがはっきりしています。臨床研修が始まる前の段階から意識付けをもっとすべきなのかなと思います。

その他

- ・貴学の卒業生に当院でも活躍していただいております
- ・協調性に長けていると思われる反面、ハングリー精神に乏しいような気がします
- ・学生時代の学力は十分にあります
- ・礼儀正しい
- ・患者への接遇レベルが高い

- ・プレゼンテーションや手技能力の不足はあるようです
- ・知識に関して個人差が大きいと思います
- ・学生のうちからなりたい医師像を考えておくとよい
- ・皆さん真面目で熱心に取り組まれる方が多いと思います。
- ・熱意ある先生方に参加いただき、当院の研修医、スタッフにも良い刺激をいただいております。
- ・自分のQOL重視し、楽な方に流れる傾向にあると思います。
- ・基本的な知識が備わっているか、研修の姿勢に関しては個人差が大きい。
- ・コミュニケーション力に長けている。
- ・たまたま女性の卒業生しか当院にはおられませんでしたが、朗らかで前向きな姿勢に非常に好感の持てる印象です。
- ・コミュニケーションが他の職のスタッフとうまくとれないスタッフが多いと感じる。
- ・もう少し意欲を上級医に見せれば、優れた医師になると思われる研修医が多い。
- ・他大学で初期研修を行っており感じたことですが、他大卒の研修医に比べて本学の研修医はカルテ記載ができていないと感じます。
(できている人とできていない人がはっきりとしています) 学生のうちからカルテ記載をしっかり身につけることがスムーズに研修医に移行できるために一つ重要ではないかと思います。

研修医						
	臨床能力	極めて優れている	標準以上	標準	やや劣る	劣る
1	医科学・医療の知識	2	9	28	6	1
2	身体診察・面接能力	2	11	26	6	1
3	患者や家族とのコミュニケーション	4	14	25	3	
4	診療録記載	2	9	26	7	2
5	問題解決能力	3	8	32	2	1
6	プレゼンテーション能力	3	4	24	14	1
7	上級医との意思疎通・コミュニケーション	5	19	20	2	
8	医療スタッフとの関係・コミュニケーション	4	18	23	1	
9	自己研修への意欲	6	17	18	4	1
#	総合的臨床能力	2	10	30	4	

コメント

- ・ローテートがランダムに組まれていて、研修医の能力向上の差も大きく感じる。科によって教育に関する熱量の差がある
- ・処方や点滴の承認がやや面倒
- ・学ぶことが多く、任せられる仕事の範囲も充実しており、とてもいいと思います
- ・職場の人間関係も良く、日々の成長が感じられています
- ・自由度の高い素晴らしい研修を経験出来、オープン並びに同僚、臨床研修センター長の安武先生を始め皆様に日々感謝しております
- ・もっと教育の場が多いほうがいい
- ・ミニレクチャーももっとやってほしい
- ・治療方針やAssesment等で自分の考えが反映されるので（特に救急外来では）やりがいを感じる一方、責任も重いなと思い、すごしています。

学生教育に関して

- ・学生のうちにもっと手技などを経験出来ていたらよかったと思う
- ・医療面接については十分なトレーニングができていたと思う。採血・点滴・血培などの手技の練習をもう少し出来れば良かった
- ・CCは千葉大学の学生と比較して優れていると思います
- ・ER研修が圧倒的に他の市中病院より不足しているので、疾患ごとのモーニングレクチャー（喘息発作やアナフィラキシーなど）があると良いかもしれない
- ・学生カルテの使い勝手が悪い
- ・漠然と担当患者を当てたり、プレゼンテーションをするだけでなく、採血所見や画像の評価の仕方を教えればよいと思います
- ・お給料が安いです。土日もあります
- ・実臨床を始めて実感したのは問題解決能力の低さです。学生ときは患者の状態をアセスメントすることはあっても、その後の治療・対応は、上級医のカルテを見る程度です。患者の状態を把握したうえで次を何にするべきか、どうしたらいいかを考えさせることが大切だと思います。
- ・BSLでどのような先生と出会うか等、全員が同じ教育を受けて卒業するのはあり得ないと思います。結局は研修が始まってどう頑張るかだと思います。多くのことを学べたと思っているので不足している点はないと思います。
- ・在学中にもっと柔軟に他国や他大など他施設のラボに学びに行ける環境を整えていただきたかった。提携関係にある大学への研修など
- ・学生のうちから診断学を学びたかった
- ・すべての内科を回れていないのは不利。もっとcommon diseaseについて知るべきだった。OSCEは実践的で役に立った

- ・学生のうちは遊ぶのが一番です
- ・プレゼンの機会は多くあったが、身体診察や手技の機会が少なかったように感じる
- ・OSCEが役に立ったと感じる
- ・自主学習の時間がもっとあるとよい
- ・カルテ記載の練習・患者のプレゼン・画像診断と解剖が足りない
- ・良いところ…レポート等を丁寧に見てくれる上級医の先生が多かったと思います。
- ・不足しているところ…余裕がないためか実習等で放置されることが多かったです。Assessment等を求められる機会が少なかったように感じます。

その他

- ・自由な校風が好きだったのでこれからも変わらないでほしい
- ・カリキュラム変更後は講義や実習の日程が詰まっていて、休暇も短くなり、学生の余裕がなくなったように感じる
- ・6年生のために自習室を増やしてあげてください
- ・医師免許を持っていないため仕方ないとは思いますが、見学的な実習が多く、時間をただ過ごすことが多かったです。より積極的に参加し、治療を行うチームの一員として扱っていただけたらより有意義であったかと思います
- ・救急外来を担当して思ったことは、様々な環境にいる人たちに会うということです。うまく対応するためにも、たくさんの人たち（医学部関係なしに）と接する機会があるべきだと思います。自由な時間も必要だと思います
- ・一次・二次救急を見学する機会があれば役に立ったかなと思います
- ・国試だけでなく臨床研修も見据えた病院実習ができるといいと思いました。忙しい上級医について放置となるよりは研修医に教育させてもいいと思う
- ・のびのびと自主性を伸ばす校風がすごくよかったと思うので他大をマネするような留年率はいい結果を生まない気がします。入試方法も1回だけのテストのほうが団結力があると感じます。AOはあまりよく思われたいのでは
- ・最低限の勉強をしたらあとは好きな風に過ごしていろんなことをしたほうがコミュニケーションなどの面でもプラスになると感じた
- ・国試合格率も重要ですが、部活などで社会性を身に着けることも大切だと思います
- ・担当患者についてもっと積極的に考えて発現する機会を設けるとより意欲を出して取り組めるのではないかと思います
- ・基礎医学は教育に対して熱心な先生が多く楽しかったです。他大学出身の同期、他大学から実習に来ている学生と関わる機会が多いのですが、他大学では附属病院だけでなく関連の市中病院をいろいろまわっていたりしてうらやましいと感じることがありました。全体として外部との交流の機会が少ない（学生も参加できる勉強会等に参加させてもらったり、関わる機会があるのですが、日医の出身の人はほとんど見かけません）ので部活単位でも個人での課外活動でも外部との交流をサポート（情報提供など）して下されると僭越ながら後輩にとってもよいかと思います。実習に関して日々カルテ記載を求められてfeedbackもいただける血液内科のローテートが楽しい記憶として残っており今の仕事にも生かされている気がします。